

小野鷺堂 鷺 書家。文久二年一月十一日駿河國藤枝生れ、大正十一年十一月七日歿（八六—一九三二）。本名鑑之助。別號この花のやのあるし、この花のやの主人、斯華廬家、斯華精舍、斯花翁、泣男、涿之等。初の書を熊澤喬龍、漢學を恩田豹隱に學ぶ。大藏省の書記として出仕し、傍ら成瀬大域の門に入り漢學、書を研鑽。明治二十二年斯華會を興し、翌年華族女學校に奉職、二十二年東京藏御用掛となる。書風は和様正明、鷺堂流として普くその名を知られた。

著書に『書法大意』（明治二十五年四月二日博文館「女學全書」）、

『手紙の文』（明治二十六年六月二日吉川半七藏版）、『正氣歌一楷

書』（明治二十七年十月八日吉川弘文館）、『小くら百人一首』（明

治四十年一月二十五日 大阪・濱本明昇堂  
愛知・小澤白架堂）、下田歌子著女子消息文

（書、明治四十年十月五日二重館）、『小久羅帖』（大正二年四月十

五日斯華會出版部、文永館・吉川弘文館）、『新式手紙のかきぶり』

（大正二年九月十九日斯華會出版部藏版、文永館・吉川弘文館）、『諸

書式』（大正四年二月二十日斯華會出版部藏版、文永館・吉川弘文

館）、『三體揮毫自在』一名墨場

備忘私記（大正八年五月五日 書  
研）

道斯華會）、池邊義象著『消息十

二月帖』（書、縮刷版・昭和四年

四月五日斯華會出版部、田中宋榮

堂・此村欽英堂・千葉久榮堂）等。

